

ノーベル賞受賞者

梶田隆章 先生  
来校

東京都市大学

第2回

# 東京大学 宇宙線研究所との 学術連携 記念講演会

2023.12.6 WED

▲ トンネルの中の奥深くまでも続くKAGRA

2020年10月、本学と東京大学宇宙線研究所との間で学術連携協定が締結されて以来、共に研究・教育活動を進めてきました。また、2023年5月から第4次国際共同観測が開始され、今後ますます重力波を用いた物理学・天文学の研究が注目されてきます。そこで、2015年のノーベル物理学賞受賞者で東京大学 宇宙線研究所教授の梶田隆章先生、重力波観測研究施設長である東京大学 宇宙線研究所教授の大橋正健先生をお招きし「重力波で探る宇宙の謎」および「日本の大型低温重力波望遠鏡『KAGRA』の現状」の講演をいただき、研究の面白さや困難な点などを語っていただきます。

開催時間 ▶ 15:30 ~ 17:35

会場 ▶ 東京都市大学 世田谷キャンパス  
7号館 1階「TCUホール」  
東京都世田谷区玉堤1-28-1  
(東急大井町線 尾山台駅 徒歩12分)

対象 ▶ 本学学生・高校生・一般  
定員 ▶ 先着200名

参加費  
無料

## 重力波で探る宇宙の謎

講師 梶田隆章

《2015年ノーベル物理学賞受賞》

東京大学卓越教授、東京大学宇宙線研究所教授 前日本学術会議会長  
専門分野は宇宙線物理学、特に重力波物理学  
現在大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」の研究代表を務めている



## KAGRAと研究

講師 大橋正健

東京大学宇宙線研究所教授 東京大学宇宙線研究所附属  
重力波観測研究施設長 専門分野は重力波物理学  
2020年より大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」による観測を開始

### PROGRAM

- 15:30 | 開会の挨拶 三木千壽 東京都市大学 学長
- 15:40 | 講演「重力波で探る宇宙の謎」梶田隆章 卓越教授  
重力波は、アインシュタインが20世紀の初めに予言した時空の波です。例えば2つのブラックホールが合体した時などに観測可能な重力波が出ると考えられてきました。そして2015年9月14日にアメリカのLIGO測定器で重力波が観測され、日本でも「KAGRA」が世界の研究者と協力して重力波の観測を目指しています。本講演では、重力波の目指すサイエンスについてお話しします。
- 16:35 | 講演「KAGRAと研究」大橋正健 教授  
KAGRAの概要を簡潔に説明し、その建設で経験した楽しさと困難さを紹介します。
- 17:05 | 対談 [パネラー] 梶田隆章 卓越教授 / 大橋正健 教授  
高橋弘毅 教授 東京都市大学 デザイン・データ科学部  
同総合研究所宇宙科学研究センター  
今後2~3年の重力波や宇宙の研究がどのような方向に向かうか、本学学生に期待することなどを語り合います。
- 17:25 | 閉会の挨拶 野中 謙一郎 東京都市大学 副学長

参加お申し込み ▶ 専用フォームより申し込みください。▶ <https://forms.office.com/r/3Zv2TBUFjz>  
QRコードでもアクセスできます



先着200名  
受付開始  
11月10日(金)10:00~

お問い合わせ先 ▶ 東京都市大学 総合企画部門 企画部 [✉ kikakubu23@tcu.ac.jp](mailto:kikakubu23@tcu.ac.jp)